

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2017年2月7日

東京大学での所属学部・研究科等:	総合文化研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	EHESS
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	✓ 7. その他(翻訳家)		

派遣先大学の概要

社会科学の研究を目的とする国立の機関で、学生は修士以上。授業はすべて講義ではなくゼミ形式。

留学した動機

修士論文のテーマに近い研究者が在籍しているため、その指導を受けながら現地調査を行いたかったから。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	修士2	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	10月~	2017年	1月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	修士2	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	修士2	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			30	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			0	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年		0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

一年前に申請しなければならず、M1の秋~には間に合わなかった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

研究計画書をフランス語で作成した。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザは申請から1週間強で受け取ることができた。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特に何もしていない。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大の強制保険に加入したが、現地での入学手続きの際にフランスの学生向け社会保険にも強制加入させられ、さらに200ユーロ程度払わされた。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

自動的に1年留年することになった。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

既にフランス語はTCFC1を取っていたので何もしていない。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

カレールーとマスク。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Territoire et action publique territoriale	0				
Habiter Paris, XIXe-XXe siècles	0				
Villes et sciences sociales	0				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業はゼミ形式だが、実際は出席して教授や他の出席者の話を聞くだけだった。課題などはなかった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

3つのゼミに出て、あとは文献を読んだり古文書館などで資料調査をしたりした。

④学習・研究面でのアドバイス

東大の院(総合文化研究科)とあまり変わらない。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

ニュースがほぼ聞き取れるので、フランス語が聞き取れると思っていたが、ゼミで教授が言ってることやカフェで隣のテーブルでしゃべっていることはまったくわからなかったので、文章として整っていないと聞き取れないのだなと痛感した。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舍の様子、見つけた方法など)

大学都市の寮。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

大気汚染が最悪。マスクを持参すべき。カード社会なので現金はほとんどいらぬ。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

帰国した翌日にルーヴルで不審者が兵士を襲っていた。そのうちまたテロが起こるだろうと思う。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費は特に数えていないが、大学都市の近くにLIDLという激安スーパーがあり、野菜や果物、肉、酒は東京のスーパーの1/4-1/8程度の値段で買える。中価格帯スーパーでも東京の半額程度。通信費はFreeのSIMを買って月20ユーロ。交通費は定期券が月73ユーロ(パリ市内+CDGまでカバー)。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

全学交換留学派遣用奨学金 10万円/月

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ヨーロッパ諸国へ旅行した。ポストンキャリアフォーラムにもわざわざ行ったが、卒業時期が選考対象外ばかりで意味なかった。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

一度も参加していないが、どうやら加盟しているPSLという大学連盟が主催する留学生向けのイベントが定期的にあるらしい。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

講義室以外何もない。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

研究のためだったので、特になし。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

ポストンキャリアフォーラムに行ったが意味なかった。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

研究の資料を集められたし、方向がはっきりした。短期ながら海外生活をする日本社会の諸慣習のおかしさが際立つ。

②留学後の予定

修士論文を書く。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

好みにもよるが、パリにはあまり見るべきものやおいしいものがないので、イタリアやスペインに旅行するとよい。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特になし。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

なし。